

令和7年度第5回理事会議事録

招集通知日 令和8年3月18日（水）
開催日時 令和8年3月27日（金）午後6時00分～
開催場所 伊豆の国市商工会本所2階会議室
出席者数 28名（内 監事2名）
欠席者数 7名
出席役員氏名 別添
司会者 松下泰孝（事務局）
議長氏名 土屋雄三（会長）
議事録作成者 川口英昭（副会長）

議事経過と結果

定刻6時00分、事務局長の司会で開始された。検証会資料については行政、学識経験者、全役員に、理事会資料については全役員に事前配布した旨報告確認をした。

「開会のことば」を川口副会長が行った後、土屋会長が「会長あいさつ」を行った。議題に先立ち、事務局長が令和7年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会に入る旨述べ、西家法定経営指導員が進行した。

事務局西家が、評価者として行政より土屋産業部長、大沼商工課長、鈴木係長、県連増田主幹を紹介。北川診断士は所用により遅れることを説明し、到着次第紹介する旨述べた。

本会定款32条5項に準じ、土屋会長を議長に指名。検証会に入った。

（3） 令和7年度伊豆の国市商工会 第3期経営発達支援計画の検証会（最終）

①行政、学識経験者紹介

ワンホープ・ビジネスコンサルティング

（中小企業診断士）	代表	北川 裕章 様
伊豆の国市産業部	部長	宮口 広明 様
〃 商工課	課長	大沼 英幸 様
〃 〃	商工振興係長	鈴木 悠介 様
静岡県商工会連合会企画経営課	主幹	増田 浩子 様

②経営発達支援計画の検証（議長は会長）

土屋議長は事務局に説明を求めた。

②経営発達支援計画の検証（議長は会長）

○令和7年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の報告

事務局西家が資料1-1について説明。

事務局次長が資料1-3と経営発達支援計画に基づく支援事例として（資料1-2）を説明。

・ 事業内容と支出内訳

令和8年3月1日実績報告 1,567,201 円

○令和7年度支援事例報告書

○令和7年度の実績報告（4月～3月現在まで12カ月間）

・ 実施報告書（定性、定量報告、今後令和7年度について

（資料1-1）

（資料1-2）

（資料1-3）

・土屋商工会長報告（総括報告）

創業支援、経営革新などの新事業展開支援、事業承継支援の3つの支援を最重要課題として、市と連携して取り組んでいる。

併せて国の指針として加わった企業の「稼ぐ力」の支援を行ってきた。

今年度、第3次伊豆の国市総合計画、第3期まち・ひと・しごと創生戦略会議の策定に委員として参加し意見を述べた。

人手不足解消や生産性向上のためのDX支援への取り組みで、セミナーを開催、今後もより加速していきたいと考える。

商工会では、国・県・市の様々な施策等を通して小規模事業者を支援している。引き続き、経営指導員等職員の巡回を中心に、より多くの小規模事業者に対して、対話と傾聴を重視した本質的な課題の掘り下げ、内発的動機付けで、経営者の自走化を目指す「経営力再構築伴走支援」を心掛け取り組んでいく。併せて、役職員で企業訪問隊を推進、継続を考えている。以上を報告した。

○評価と検証と今後

・中小企業診断士 北川裕章 様

本計画が小規模事業者の本質的な課題を深掘りし、経営者の「気づき」や「腹落ち」による自走化を促すという伴走支援の趣旨に沿って、年度目標をクリアし確実に実施されていると高く評価される。

具体的な内容として、伴走型補助金を用いたセミナーや相談、クラウド型経営支援ツールの導入が有効に活用されている点に触れ、特にDX分野の成果を評価しており、SNSを活用した売上高の増加率が目標の4倍以上という顕著な実績が出ていることを挙げた。また、RESAを活用した地域経済動向分析についても、事業者にとって有益な情報提供であると肯定的に捉えている。さらなる改善に向けた提言として、以下の2点を提示した。

- 1 経済調査への聞き取り結果の反映：指導員が直接聞き取った調査結果を資料に加えることで、関連事業者にとってより有益な情報提供を目指すこと。
- 2 県内版データの活用：全国版の動向調査だけでなく、静岡県商工会連合会の資料も併記して比較検討を行うこと。

総括として、各項目の達成度が100%を超えている実績と自己評価の妥当性を認めつつ、今後は定量的な面だけでなく、定性的な側面も加味した自己評価を継続し、経営者の自走化をさらに促していく支援体制が深化することに強い期待を寄せた。

・静岡県商工会連合会 主幹 増田浩子 様

計画3年目の着実な進捗と適切なPDCAサイクルを称賛された。特に創業支援が目標の2倍以上という高い実績を挙げている点や、行政・金融機関との連携が地域連携の効果として現れていることを高く評価した。事務局長会議で事例として紹介されるほど、組織全体での取り組みが模範的であると述べ、策定後の丁寧なフォローの継続を期待する旨述べた。

・伊豆の国市産業部 部長 宮口 広明 様

各指標がほぼ100%を上回る実績を「非常に素晴らしい」と高く評価した。市との密な連携を強調し、令和8年度の「伊豆の国応援券」の配布や、新設された上限300万円の「生産性向上設備導入支援事業費補助金」の周知・審査への協力を要請した。また、世界情勢によるエネルギー価格高騰への懸念を示し、的確な対策に向けた連携を求めた。

③その他 ・今後の予定

令和8年度 新発達計画の推進と伴走型補助金の申請

市と連携して事業継続力強化支援計画の推進

事務局西家が令和8年度も伴走型補助金申請を検討している。

市と連携し、発達支援計画・事業継続力強化支援計画を推進していきたい旨述べた。

議長は以上報告等を踏まえ、意見質疑等を求めたが特になく、この場に限らず意見提案等あれば事務局に申し出るよう述べ本検証会を終了した。

松下事務局長が本会定款34条理事会開催要件を満たしている旨報告がされ同条5項に基づき土屋会長を議長に指名した。

(4) 議題

【承認事項】

理事会議案

第1号議案 新規会員加入承認（脱会会員報告）について

(資料2)

議長は事務局に説明を求めた。

事務局木村が資料2に基づき新規会員11事業所(開業6カ月未満事業所7件含む)

を説明した。併せて資料に基づき脱会会員23事業所を報告した。

その後、議長は出席者に質疑を求めたところ特に質疑なく、全員異議無く原案通り承認された。

(理事会承認後、会員数1,228(葦山 498・伊豆長岡 376・大仁 354))

第2号議案 令和7年度収支補正予算書承認について

(資料3)

事務局長が資料3に基づき説明を行った。

議長は出席者に質疑を求めたところ質疑なく、採決を諮った結果原案通り承認可決した。

第3号議案 財政調整資金取り崩しについて

・理由⇒年度初の運営資金が切迫するため

事務局次長が年度初めの運営資金が切迫するため取り崩しが必要である旨説明。

議長は出席者に質疑を求めたところ質疑なく、採決を諮った結果原案通り承認可決した。

第4号議案 その他

特になし

【協議事項】

①令和8年度商工フェアの日時、組織、等について

・第1回実行委員会の開催（令和8年3月17日）

川口実行委員長より本年度の開催が決定した旨説明し日時は10月25日と述べ、各部会への協力をお願いした。

②部会・委員会よりの協議事項

○総会資料より 全体計画、各部会事業の一覧表

総(資料2) 理(資料4)

○部会幹事会の開催と部会総会のお願い

R7事業報告、決算、R8事業計画、予算 → 4月総務委員会までに幹事会を

1.2.3月度(直近)の景況の報告も含めて

各部会より発言された。

1. 商業部会

杉山部会長より3月25日に今年度最後の幹事会を開催し、事業報告と次年度予算を協議しました。行政からの依頼による「ラボット」関連の商品開発推進や、商工フェアの実行委員選出を行った。また、伊豆日日新聞での「会員紹介事業」を4部会輪番で実施することが推奨した。

経営環境については、歴史的な円安(159円~165円想定)や中東情勢による原材料高騰が深刻で、特にパン製造の新規受付停止やレジ袋・クリーニング用ビニールの供給不安など、先行きへの強い懸念が示された。

2. 工業部会

浅田部会長より3月25日に幹事会を開催し、商業部会と同様に新聞での会員紹介事業への参加と予算計上を決定。特筆すべき点として、市が新設した「生産性向上設備導入補助金(上限300万円、補助率1/2)」に対し、2年にわたる要望が実ったとして深い謝意が述べられた。

景況に関しては、アルミ材が6月から16%値上げされることや、ビニール工場の稼働停止による供給不足のリスクが報告され、便乗値上げ等への警戒も含め、厳しい経営判断が求められる状況にある旨説明。

3. 建設部会

塩崎副部会長より伊豆の国市環境配慮型リフォーム助成事業」の予算を全て消化し、支払いを完了したと報告。3月30日に次期事業に向けた幹事会を予定している。課題としては、資材価格の高騰による工事受注の減少や、深刻な人手不足(人材確保の困難)が挙げられており、部会として対策を講じていく方針。

4. 観光サービス部会

稲村部会長より3月16日に幹事会を開催した。今年度実施した「地域商品商談会」で一定の成果が得られたことを受け、次年度は新たな方向性として「AI(人工知能)活用講習会」を計画している。サービス業の多種多様な業種に対応するため、具体的な活用事例を提示し、会員のプラスになる事業を目指す。

5. 青年部

井川部長より3月24日に外部講師を招き、チャットGPT(生成AI)の活用講習会を実施し、業務効率化について学んだ。また、市内3中学校と連携した「おらがまちの職行を知ろう)」を初めて開催、次年度も教育委員会と連携して継続する予定。4月17日に総会を予定している。

6. 女性部

新規事業として、災害時の支援物資仕分け訓練(1月)や、神奈川県逗子市商工会女性部との交流(2月)、花壇整備を通じた地域交流(3月)など、精力的な活動が報告された。

4月23日に総会を開催し、次年度の役割分担などを協議する。

③その他

・令和8年度地域振興活動助成金の運用

総(資料3) 理(資料5)

2月下旬~3月上旬「要望」案内→3/末要望締切→4/正副→4/総務委員会→4/理事会事務局鶴見が令和8年度より、地域振興活動助成金の申請は1組織につき年1事業までに制限される。広告宣伝費の2分の1(上限10万円)を補助する制度で、実施2週間前までの申請と、終了後1ヶ月以内の実績報告が必要と説明した。

(5) 報告事項

① (R8/2/16) 表彰状伝達／商工会法施行 65 周年記念式典にて (以下敬称略)
事務局長が表彰者について発表し、土屋会長より伝達を行った。

◇静岡県商工会連合会長表彰 優良常勤役職員 経営指導員 山本泰平
経営支援員 相原健人

②地域振興事業

事務局長が「生産性向上設備導入補助金」について説明した。

- ・伊豆の国市応援券事業 (進捗)、市生産性向上設備導入補助金 (進捗)

事務局長が市再配置計画案について説明した。

- ・伊豆の国市再配置計画案のパブリックコメント (2/2-2/27)

③その他

事務局鶴見が下記を説明した。

- ・市民などへのアピール

FMいずのくに 本会の広告費補助紹介／個社の広告宣伝の利用

伊豆日日新聞 事業所の紹介 (R7年「トナリの店主こんな人 伊豆の国市を笑顔に)

- ・視察研修会に向けて

事務局長が福祉共済、駿河湾フェリー、アレモキッチンコレモストアについてPRを行った。
また、次年度は任期満了による役員改選のため、役員へ周知を行った。

- ・令和9年度商工会役員改選に向けて

(6) 令和8年度事業について

- ・事務局長が資料に基づき令和8年度事業について説明した。

①市補助金について／3/23 議会最終日採択

総(資料4) 理(資料6)

令和8年度伊豆の国市要望書の回答

事務局次長がBCP(事業継続力強化支援計画)について令和8年度が現在の5カ年計画の最終年となるため、次期計画(第2期)の策定・申請を市と連携して進める旨説明。

土屋会長から建設部会に対し、「有事の際に自社をいち早く通常営業に戻すための発信源」として、全部会へのBCP普及を牽引してほしいとの強い要請があった。

②令和8年度『第3期伊豆の国市商工会経営発達支援計画』の実施／4年目

- ・創業支援事業(伊豆の国市創業支援基本計画と共に)
- ・事業承継支援事業
- ・経営計画作成支援事業(「稼ぐ力」向上-経営革新、生産性向上、DX事業含む)
- ・商品等(伊豆の国ブランド関連、ふるさと納税など)開発と販路開拓支援事業
- ・地域経済活性化に資する取り組みの推進(地域の課題発見課題解決)
- ・令和8年度伴走型補助金の申請へ

③令和8年度『第1期伊豆の国市商工会事業継続力強化支援計画』の実施／5年目(最終年)

- ・個社のBCPなど計画策定支援／伊豆の国商工会市防災協力会に向けて
- ・次期(第2期)計画作成に向けて／静岡県支援計画作成ガイドラインに基づき作成

- ・大沼商工課長が商工会との密な情報共有により令和7年度の事業が円滑に進んだことを謝し、令和8年度も「応援券」や「生産性向上補助金」での連携強化を期待する旨が述べられた。また、市の「商工振興計画」改定にあたりアンケート等への協力が求められた。

(7) その他

事務局西家が今後の予定について報告した。

- ①次回 ・ 4月度総務委員会 令和8年4月16日(木) 16:00 ~本所にて
- ・ 6月度総務委員会 令和8年6月10日(水) 16:00 ~本所にて
- ・ 第1回理事会 令和8年4月30日(木) 本所 19:00~
- ・ 第2回理事会 令和8年6月24日(水) 本所 19:00~

- ・ 令和8年通常総会 令和8年5月21日(木)
14:00受付 15:00開催予定
伊豆の国市総合会館アクセスかつらぎ多目的ホール

- ・ 令和7年度 通期監査 令和8年4月21日(火) 13:00~
正副会長、林監事、小林監事

(8) 閉会のことば

終わりにあたり川口副会長より閉会のことばが述べられ本日の第5回理事会の議題は全て終了した。

20時終了